

各地の小児糖尿病キャンプへのお問い合わせは、それぞれの事務局へご連絡ください。
開催情報は、日本糖尿病協会ホームページでもご覧いただけます。

www.nittokyo.or.jp

日本糖尿病協会

検索

- **北海道つぼみの会サマーキャンプ**
北海道つぼみの会事務局 TEL : 080-2401-9652
- **青森県小児糖尿病サマーキャンプ**
弘前大学大学院医学研究科小児科学講座 TEL : 0172-39-5070
- **秋田1型DMオータムキャンプ**
秋田赤十字病院 FAX : 018-829-5215
- **岩手つくしんぼサマーキャンプ**
もりおかこども病院 TEL : 019-662-5656
- **山形小児糖尿病サマーキャンプ**
山形大学医学部小児科 TEL : 023-628-5329
- **宮城県小児糖尿病サマーキャンプ**
東北大学病院小児科 TEL : 022-717-7287
- **福島県小児糖尿病サマーキャンプ**
大原総合病院小児科 TEL : 024-526-0300
- **茨城県糖尿病協会サマーキャンプ**
仲本内科クリニック TEL : 029-300-2022
- **群馬小児糖尿病の会(ひまわり会)サマーキャンプ**
群馬小児糖尿病の会(ひまわり会) TEL : 027-373-5815
- **栃木県小児糖尿病サマーキャンプ**
栃木県小児糖尿病サマーキャンプ事務局 TEL : 028-634-3487
- **つぼみの会サマーキャンプ**
つぼみの会事務局 TEL : 03-5350-8510
- **東京なかよし会サマーキャンプ**
日本大学病院総合診療センター小児科 TEL : 03-3293-1711
- **東京わかまつ会小児糖尿病サマーキャンプ**
東京医科歯科大学医学部附属病院小児科 TEL : 03-5803-5249
- **千葉つぼみの会 Summer Camp**
千葉つぼみの会事務局 HP : <http://chibatsubomi.web.fc2.com/index.html>
- **埼玉サマーキャンプ**
埼玉つぼみの会事務局 HP : <https://saitamatsubomi-iddm.jimdo.com/>
- **横浜つぼみの会サマーキャンプ**
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児科 TEL : 045-261-5656
- **相模原つぼみの会 SUMMER CAMP**
相模原つぼみの会事務局 TEL : 042-733-3098
- **やまびこの会サマーキャンプ**
山梨大学医学部小児科 TEL : 055-273-9606
- **信州ぶらんこの会サマーキャンプ**
信州ぶらんこの会事務局 TEL : 0263-46-3299
- **新潟小児糖尿病キャンプ**
新潟大学医学部小児科 TEL : 025-227-2222
- **わくわくファミリージャンボリー**
静岡県つぼみの会事務局 E-mail : t-suzuki@kyoei-sha.co.jp
- **浜松つぼみの会サマーキャンプ**
浜松医科大学小児科 TEL : 053-435-2312
- **東海地区小児糖尿病サマーキャンプ**
東海地区小児糖尿病サマーキャンプ研究会 HP : <http://dmcamp-tokai.jp/>
- **富山DMサマーキャンプ**
大沢内科クリニック TEL : 0763-33-1047
- **北陸小児糖尿病サマーキャンプ**
金沢大学医薬保健研究域保健学系看護科領域 TEL : 076-265-2569
- **福井県小児糖尿病サマーキャンプ**
福井大学医学部小児科学教室 TEL : 0776-61-3111(内2316)
- **京都滋賀つぼみの会サマーキャンプ**
京都滋賀つぼみの会事務局 TEL : 0748-33-5000
- **大阪くるみの会小児糖尿病サマーキャンプ**
大阪医科大学小児科 TEL : 072-683-1221
- **大阪杉の子会なかよしサマーキャンプ**
大阪市立大学大学院医学研究科発達小児医学 TEL : 06-6645-3816
- **近畿つぼみの会サマーキャンプ**
近畿つぼみの会事務局 FAX : 073-427-8033
- **和歌山つぼみの会サマーキャンプ**
和歌山県立医科大学第一内科 TEL : 073-445-9436
- **兵庫県小児糖尿病サマーキャンプ**
たかはしクリニック TEL : 078-882-6432
- **岡山小児糖尿病サマーキャンプ**
岡山赤十字病院 TEL : 086-222-8811
- **広島もみじの会サマーキャンプ**
県立広島病院小児科 TEL : 082-254-1818
- **小児糖尿病大山サマーキャンプ**
松江赤十字病院栄養課 TEL : 0852-32-6946
- **山口会宿泊交流会**
さんふらわあクリニック TEL : 0833-44-5678
- **せとっ子の会スプリングキャンプ**
四国こどもとおとなの医療センター地域連携室 TEL : 0877-85-7788
- **徳島小児糖尿病サマーキャンプ**
徳島大学医学部小児科 TEL : 088-633-7135
- **高知県小児糖尿病サマーキャンプ**
リハビリテーション病院すこやかな杜 栄養科 TEL : 088-837-2345
- **愛媛ブルーランドサマーキャンプ**
愛媛大学医学部看護学科 TEL : 089-960-5401
- **ブルースカイキャンプ**
久留米大学医学部内分泌代謝内科 TEL : 0942-31-7563
- **福岡小児糖尿病サマーキャンプ・ヤングホークス**
岡田内科クリニック TEL : 092-651-7011
- **大分ヤングウイングサマーキャンプ**
大分市医師会立アルメイダ病院内分泌内科 TEL : 097-569-3121
- **シャイングスマイル佐賀サマーキャンプ**
佐賀大学医学部看護学科 TEL : 0952-34-2564
- **長崎県小児糖尿病療育サマーキャンプ**
長崎県小児糖尿病ことこの会の会 TEL : 095-847-6974
- **肥後っこスマイルサマーキャンプ**
熊本県糖尿病協会 TEL : 096-365-5414
- **ヤングフェニックスサマーキャンプ**
古賀総合病院 TEL : 0985-39-8888
- **鹿児島小児糖尿病サマーキャンプ**
鹿児島大学病院糖尿病内分泌内科 TEL : 099-275-6478
- **ハッピーサマーキャンプ**
沖縄県糖尿病協会 TEL : 098-886-6955

(2018年実施情報)

1型糖尿病と診断された子ども達とその家族を支援する

日本糖尿病協会主催

糖尿病サマーキャンプ



1型糖尿病の子ども達は、生涯にわたりインスリン注射が必要となります。幼稚園や小学校、中学校、高校と、そして大学、社会へと人生が広がっていくなかで、1型糖尿病とどうやってうまくつきあっていこうか……。同じ1型糖尿病を持つ仲間がキャンプにやってきます。スタッフや成長した1型糖尿病のお兄さんやお姉さんが、いろいろ教えてくれます。食事や運動、低血糖対策など、自分でやっていくスキルを体験の中で学びます。そして、何よりも、参加することで「糖尿病をもって生きること」を受け入れ、成長していきます。ぜひ、小児糖尿病キャンプに参加してみませんか。

全国の小児糖尿病サマーキャンプは、1967年から日本糖尿病協会が主催して開催しています。



公益社団法人 日本糖尿病協会

〒102-0083 東京都千代田区麹町2-2-4 TEL:03-3514-1721/FAX:03-3514-1725
HP : <http://www.nittokyo.or.jp/>



サマーキャンプスケッチコンクール 2014年優秀作品
★グランプリ
「キャンプファイヤー」林田 悠杜さん



糖尿病サマーキャンプの歴史

我が国の糖尿病サマーキャンプは、1型糖尿病と診断された子ども達の教育と生活指導のために、1963年に丸山博先生によってはじめられ、50年を超える歴史を重ねています。現在では全国50か所で開催され、毎年約1200人の子ども達が参加し、約4500人の医師や、看護師、栄養士などの医療スタッフ、学生ボランティア、キャンプOB/OGらによって運営されています。全国各地のキャンプには、それぞれの歴史や地域の特徴があり、ひと夏の間、いろいろな地域で開催されます。



糖尿病サマーキャンプの内容

各キャンプは、安全であること、教育的であること、楽しいこと、チャレンジできること、地域や社会との交流の場であること、という目的があり、さまざまな計画で実施されています。また、キャンプはご家族の皆さんにとっても、学びの場でもあり、休息の時でもあります。

- 開会式
- コミュニケーションゲーム
- 食事・バーベキューなど
- 山登り、海水浴、キャンプファイヤー、花火
- 自己注射、血糖測定、学習会
- 仲間との交流の時間など・・・

糖尿病サマーキャンプの効果

日本糖尿病協会では小児糖尿病キャンプの必要性と効果を明らかにする目的で、2008年から3年間をかけて全国の糖尿病キャンプを対象に調査を行いました。全国24か所のキャンプから10～18歳の1型糖尿病を持つ患者915人の協力が得られ、キャンプの参加経験による相違点などにも注目してキャンプ参加前から1年後までの調査を行い、キャンプに参加することの意義と成果を確認しました。その調査結果の一部を紹介します。

「キャンプが必要な理由」は、キャンプに参加したことのある206名が回答(複数回答)した結果です。「キャンプ後に使用している知識・技術」は、キャンプに参加した経験のある173名が回答(複数回答)した、キャンプ3か月後の結果です。

(文献)

- 1) 社団法人日本糖尿病協会調査研究報告書;小児糖尿病生活講習会(サマーキャンプ)の成果に関する調査報告書, 2010年11月
- 2) 薬師神裕子,中村慶子,榎崎見史,岡田泰助,武田倬;小児糖尿病キャンプの必要性と成果に関する全国調査,糖尿病,55(11), 2012, 866-872

キャンプが必要な理由

n=1193 (206人複数回答)

項目	回答数	%
同じ病気を持った仲間と交流できる	174	84.5
新しい友人と出会える	142	68.9
仲間や医療者から生活上のアドバイスが得られる	102	49.5
注射や血糖測定の手技が学習できる	83	40.3
食事や補食について学べる	80	38.8
食事を見直す事ができる	73	35.4
コントロールの目標を立てる事ができる	71	34.5
低血糖や高血糖の対応方法が学べる	70	34.0
病気に立ち向かう自信が持てる	67	32.5
同じ仲間から刺激がもらえる	67	32.5
インスリンの調整方法が学べる	62	30.1
おもいっきり運動ができる	54	26.2
血糖値を予測する方法を学べる	47	22.8
悩みを打ち明ける事ができる	46	22.3
インスリン注射に対するやる気が出る	41	19.9
その他	14	6.8
累計	1193	

キャンプ後に使用している知識・技術

n=598 (173人複数回答)

